

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名				担当課	担当係名		所属長(課長等)名		担当者係長名		
06310	下水道管渠維持管理事業				建設水道課	水道工務係		漆戸 芳樹		唐澤 武志		
					一次評価年月日	平成 23 年 6 月 10 日	連絡先(内線)	2167				
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード		事業名(歳出予算見積書)							
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	5702		公共下水道事業					
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	5732		特定環境保全公共下水道事業					
	章		(コード選択)		3章		夢のある地域形成					
	節		(コード選択)		1節		町の基盤を整備する					
	項(基本施策)		(コード選択)		314		下水道の普及					
	主な取り組み		(コード選択)		3143		施設の維持管理					
	関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他		
事務期間		(開始) H元 年度	~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input type="checkbox"/>	終期設定なし				

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
公共下水道を利用する町民
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
下水道を安全で安心して使用できる。
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 管路内の施設の点検および修繕
2 マンホール周辺の舗装修繕
3
4

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名 管路内施設点検実施箇所数	基	661	1,095	1,000	1.10	1,095	
	目標値設定の根拠	前年度実績より					
② 指標名 マンホール周辺の舗装修繕の必要な箇所	箇所	12	10	10	1.00	10	
	目標値設定の根拠	前年度実績より					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)
① 指標名 異常箇所発見数	基	21	20	25	0.80	20	
	目標値設定の根拠	前年度実績より					
② 指標名 マンホール周辺の舗装修繕実施率	%	100	100	100	1.00	100	
	目標値設定の根拠	前年度実績より					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法										<input type="checkbox"/> 決算書・予算書等に記載の数字	<input type="checkbox"/> 按分計算による算定
○総事業費(コスト概算) =①+②										(千円)	平成20年度決算
対前年比										%	3,376
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)											3,003
B)一般財源(税金)											5,177
①事業費										(千円)	4,819
対前年比										%	89
②人件費の概算										(千円)	93.1
対前年比										%	172.4

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある B 変化していない D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかつた D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) □を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

今後の展開方針(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

5年間隔を目途に計画的に管路調査をすすめ、修繕の必要な箇所を修繕している。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

23年度予算見積書への反映 あり なし

管路調査について、効率的効果的に実施するための検討研究を委託して実施し、平成24年度以降の管路調査業務に反映させる。

〔反映内容〕

管路調査効率化

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック

下水道施設を健全に維持していく上に必要な事業。効率的な管路調査手法の共同研究により、コストを下げながら効果を上げる方法を調査する。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

→ a 上記 a~e を選択